



名古屋いのちの電話

相馬信夫理事長急逝 追悼紙面挿入



(相田みつをの作品が多く飾ってある神戸震災復興後の風景)

写真 文 珠 幹 夫

肥料

あのとときの日
 あの日苦しみも
 あのとときの日
 あの日悲しみも
 みんな肥料に
 なったんだなあ
 じぶんが自分
 なるため日
 みつを

佼成出版社 相田みつを著

「いちずに一本道」

「いちずに一ツ事」より



「死」を語ろう

水谷 巍

ダイアナ妃の死は、哀悼とか残念とかの感情論を離れば、ヒロインにふさわしい華麗なる門出である。もし命がらえ、だんだん世間から忘れられ、どこかの寒村でひっそり老婆が息をひきとったら、アーサー王妃グィネピアに喩えられるような英国伝説上の人物にはならなかったろう。

50年前迄、日本では、死にかたが論じられた。崇高な目的のために自らのいのちを捨てること、いさぎよい死を美化してきた。軍国主義がこれを利用したせいもあって、戦後は全く否定されるようになった。

アメリカの事情もよく似ている。以前は「アラモの砦」はアメリカの聖地であり、戦死した男たちは、ならずものも含めてみんな英雄となった。赤穂四十七士に匹敵する人気である。独立戦争の時の少年鼓手は今でも語りつがれている。しかしこのアメリカ人の熱き心はベトナム戦争で砕け散った。正義と信じて銃をとった若者たちがジャングルの中で体験した不条理な殺りく、そしてやり場のない怒りと絶望。アメリカは始めて挫折を味わった。その結果、ピューリタンの伝統は崩れ急速に退廃文化に墮落して行った。

1945年の終戦後しばらく、捕虜となって抑留されていた若者達が帰国してきた。虜囚の身を恥じ、半年も家に帰れず、夜裏口でそっと母親だけに会ったとか、父親は唇を噛みしめ、遂に会わなかったとか、非人間的な風潮が残っていた。これが60年代になると一転して、「おめおめ恥をかいても生きろ」という調子の反戦歌が歌われた。28年の逃亡から生還した横井正一氏の「はずかしながら帰って来ました」という言葉を受けたものである。

「高貴な死」を否定しつつした後、生命の尊重・生の謳歌の時代がやって来た。しかしそれ

は自分の生命、自分の生存を絶対優先の権利としてふりかざす際限のない欲望の時代にのめり込んでいった。

さらに自分の生命の絶対性に固執した結果、ある自己矛盾につきあたってしまった。脳死・臓器移植・尊厳死の問題である。

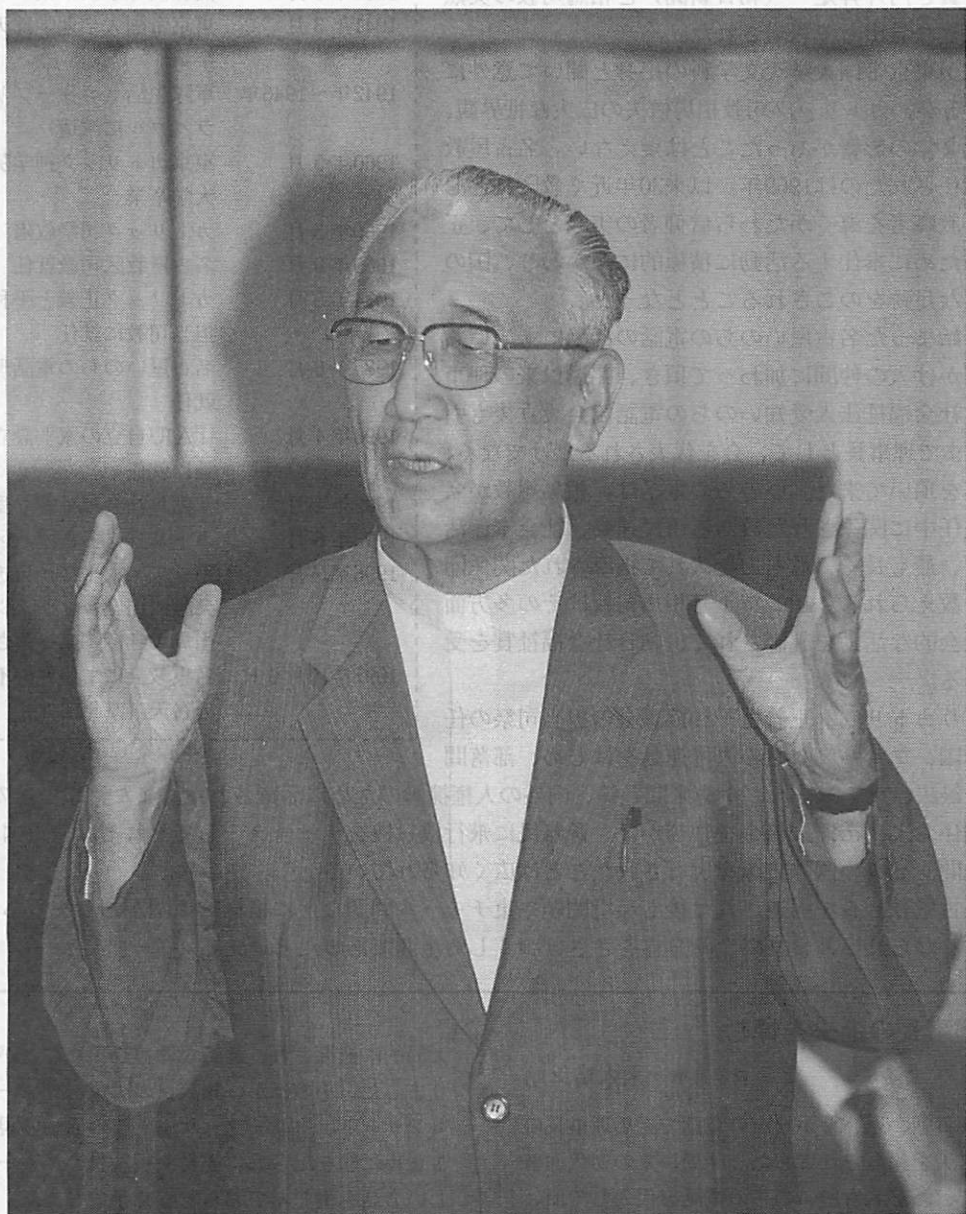
自分の生に絶対的価値を置くことが憲法の存権であり、現代社会法の根本原理である。が、この理論の延長線上には、死はすべての終りであり、「死んだらゴミになる」という法学者の迷言につきあたる。この定義に従えば、生きているとは古人の言葉を借りれば「飯を食べて糞をたれる」ことである。では、この営みの有る無しによって生命を論じつくせるだろうか。

永遠の生命という宗教論に触れることをひかえながら、実証的側面だけについて考えてみよう。ダイアナ妃や聖マザーテレサが生前と死後、その存在がどう変わったかということである。

ダイアナ妃の結婚式の見物は100万人といわれるのに、葬列には、何の警備もないパレードもない質素な行進を600万人が見送った。聖マザーテレサは一人の人間がどれほど巨大に生られるかを実証したが、今までマザーテレサ知らなかった私にとっては、私の心の中にあらたに誕生・再生したことになる。

人間の生命というものは生物学的に生起する側面と別に、こうした不滅といえるような可能性を含んだ人間的生命の側面もある。死を考えるとこの人間的生き方を考えることである。死に方によって生が決算されるのだから、今のうちに死から逆算して生を点検しておかねばならない。聖アウグスチヌス曰く「早く死んでおけ、さもないと本当に死んでしまうぞ」。

(総務委員長・崇覚寺住職)



開局以来の理事長 相馬信夫司教急逝

社会福祉法人愛知のちの電話協会理事長相馬信夫司教は、10月6日未明、急性心不全のため、カトリック名東教会にて逝去されました(享年81才)。葬儀ミサなど告別式は、10月9日カトリック布池教会に於て、カトリック名古屋教区葬のかたちで執り行われました。

(写真：1993年、東ティモール訪問報告集会、上智大学に於いて)

偉大な足跡

“市民運動を支援「行動する司教」”（中日新聞）
“「正義」貫き内外奔走”（朝日新聞）と相馬司教の突然の逝去は大きな見出しで報道された。

相馬司教が東京帝国大学天文学科の出身と聞いて意外に思う人もいるが、カトリック司教相馬信夫の広大な世界観、宇宙観に天文学の影響があったことは疑えない。名古屋教区司教に就任されたのは1969年。以来30年近く教区長として、信徒、教職者を導くかわり信仰者の実践として、正義と平和のために奉仕する活動に積極的にかかわり、国の内外に大きな足跡をのこされることとなった。

1985年に始まった名古屋いのちの電話の活動にも、いち早く呼びかけ人の仲間に加わって頂き、開局以来の理事長として、社会福祉法人愛知いのちの電話協会設立後も引き続き今日まで理事長として、会を代表されるだけでなく、親しく指導を頂いて来た。いのちの電話は、相馬司教が名古屋司教在任中に関係された数ある市民運動、社会奉仕活動の中でも、最も長く、最も力を入れて指導された関係団体の一つと数えられる。1992年1月相馬司教はその多方面にわたる社会的な活動を評価されて、朝日社会福祉賞を受賞されている。

1974年よりカトリック正義と平和協議会の担当司祭の任を担い、韓国、フィリッピンの人権運動をはじめ、部落問題、外人登録法、東チモール、中南米問題等、内外の人権擁護のために活躍された。また湾岸戦争の際には、他の宗教関係および市民に募金を呼びかけ、避難民に飛行機11機をチャーターしてそれぞれの母国に輸送する大きな民間レベルの国際貢献を実行されたことは広く知られている。

1993年名古屋教区長を引退された後も環境問題や東チモール問題などに積極的に関わりをもち、教会の内外に、亡くなられる前日まで全身全霊をささげつくした生涯であったといえる。

故 相馬信夫理事長 略歴

- | | |
|-------------|--|
| 1916年6月21日 | 東京都に生まれる |
| 1934年3月 | 浦和高等学校卒業 |
| 1941年3月 | 東京帝国大学理学部天文学科卒業 |
| 1942年～1946年 | 軍隊生活（ニューブリテン島ラバウルに派遣） |
| 1960年3月 | 東京カトリック神学院・上智大学卒業 |
| 1960年3月 | カトリック司祭叙階 |
| 1969年9月 | 名古屋教区司教就任 |
| 1974年5月 | カトリック正義と平和協議会担当司教に就任 |
| 1985年6月 | 名古屋いのちの電話理事長に就任 |
| 1990年4月 | 「AJU自立の家」設立、理事長に就任 |
| 1992年1月 | 「朝日社会福祉賞」受賞 |
| 1993年6月 | カトリック名古屋教区長引退 |
| 1996年11月 | アジア・太平洋・東チモール会議に出席、マレーシア治安当局に身柄拘束送還される |
| 1997年10月6日 | 名古屋教会にて急性心不全のため召天（享年81才） |

相馬理事長の逝去を悼む

常務理事 木本精之助

10月6日朝、思いもかけない電話で相馬理事長の突然の召天を報らされました。開局以来の初代理事長として、わが名古屋いのちの電話を代表して頂いた相馬理事長の急逝は言葉に表わしようのない大きいショックでありました。

開局当初、ひと握りのキリスト教関係者の熱意ある呼びかけに発したいのちの電話の活動が、宗教、信条を超えた広範囲なボランティア市民運動として定着をみる過程に於ては、強い信仰に裏打ちされ乍ら、社会の弱者の救済を实践される相馬理事長の包容力のあるリーダーシップは必要不可欠のものであります。

理事会や評議員会その他の会議では、会の動向を

大局的に把握され、適切な助言を頂くことが度々ありました。そのほか、相談員の認定、フォーラム、コンサート、フリーマーケット等の活動の現場にもこまめに顔を出され、委員や相談員の一人一人と親しい会話を愉しんでおられる様子でした。

昨年11月、全国研修会名古屋大会には、東チモール問題でマレーシアの治安当局に拘束され送還されたばかりの生々しい体験を交えて、500人余の参加者に挨拶され大変印象深いことでした。

開局以来の困難な草創の時期に、まれに見る優れた指導者を与えられたことに感謝しつつ、遺された我々が力を合わせて、亡き理事長の遺志を堅く受け継いで、いのちの電話の目的達成につとめ、相馬理事長に天国にて充分な安息を得て頂けるようにしたいものです。

この度、原稿をうけて“そういえばいのちの電話は自殺予防から出発しているなあ”とぼんやり考えるうちに、一人の女の子のことを思い出した。

彼女は中学校の同級生であり、胸の病気を患っていた。卒業後、病状が悪化して入院したという知らせを聞いて、私は友人と一緒にお見舞に出かけた。病室の彼女は半身を起こしていたが、息がハーハーとして早かった。今にして思えばかなり危険な状態だったのだろう。苦しい息をしながら、付添いのおばさんに「お林檎を剥いてあげて」といった。身体的にも精神的にもおそらく苦しみの極にあっただろうに、いかにも彼女らしい優しさだった。私達は何と云ったらいのか分からずに、必死で「気を使わないで」とだけいったように思う。私達にとって病院のお見舞は初めての経験だったし、まして現実的な死はまだ遠くの方だった。

居たたまれない落ちつかなさで帰ろうとした時、彼女は「死にたくない、生きたい」と二度程呟いた。どういう言葉を返したのか覚えていない。私達は黙ったまま帰ってきた。

思春期真っ只中のその当時、本気で実行する積もりなどもろんなかったが、私の頭の中のどこかで「自殺」の文字がちらついていて、友人との話題に自殺が出てくることもあった。何となくムードに浸っていた私の気持を彼女の言葉はがーんと打ち砕いた。「死にたくななくても死ななければいけない」人があり、そういう時があるのだ。そういう不条理に初めて直面した。彼女はまもなく亡くなったと聞いた。

死をくいとめる言葉は種々あるのだろうが、私の「生きることと死ぬこと」についての考えを根底から変えたのは、死に面した女の子の「死にたくない」という呟きだった。私にとっ

ては、自分の手中にあった（と思っていた）生死の問題を別の者の手に委ねるという大きな転換だったと思う。そういう転換をもたらす言葉を如何にして掛けうるのか。電話を受ける者ひとりひとりに突きつけられる重い問いである。

ここまで書いた時、一人の学生から猫の死の話聞く機会があった。1時間の面接の間中、彼女はしゃくりあげながら、幼い頃から一緒に

育ってきた猫が亡くなった様子を語ってくれた。夜に猫の元気がなくなったので側で寝こんだこと、早朝に、早かった呼吸がゆっくりになり、そのうちにとどえたこと。最後にニャーニャー泣いたのは苦しかったのだろうと、また、涙を溢れさせた。おばあちゃんの時も、別の猫の時も最後の時にはいなかったの、死の瞬間に立ち会ったのは初めての経験だったともいった。亡くなった猫を抱いてやるとぐにゃとしていたが、次にだいた時には固くなっていたと、からだでもしっかり死の体験をしたようだった。大事な猫がいなくなった寂しさだけではなく、死に直面したことが彼女の心を大きくかき乱しているのを感じながら私はきいていた。昔は（いつ頃からは定かでないが）、子供たちもかなり日常的に人や動物が息を引き取る場面に遭遇したのだろう。そして、同級生が私に教えて

ある女の子のつぶやき

—死をくいとめるのは—

田畑洋子



くれた真実を幼い頃から肌で感じる事が出来たのだろう。自然の死から遠ざかった分、非現実的な死に近づき、奇妙な死に囲まれるようになった現代である。学生がこの体験を乗り越えて死への想いを深めていくことが出来るよう、しばらくつきあっていこうと思っている。猫のモーニングワークは初めてである。

(訓練スタッフ・名古屋女子大学文学部助教授)



最新電話情報

◇携帯電話・PHS

最近では、街で携帯電話をかけながら歩く姿が、若者のファッションになっています。電話が家庭にあるものという概念から個人の持ち物に変化してきました。

NTTの調査によれば、1997年3月末で携帯電話の加入台数は2087万台、PHS（簡易型携帯電話）は602万台となっています。これは国民の5人に一人以上が携帯電話を持ち歩いているということになります。

いのちの電話の相談電話にも携帯電話からかけてくる利用者もみられるようになってきました。しかし、運転中は大変危険ですし、街角からでは相談のプライバシーが保てそうもありません。

若者たちが街角で携帯電話を使っているときには、まるで隣にいる友達と話している会話のように聞こえます。つまり、携帯電話が友達との距離をなくしているようです。しかし、皮肉なことに、若者たちの間に面と向かって人と話せない人達が増えてきていることも事実です。

◇ポケットベル

中・高生には携帯電話はちょっと高いので、ポケベルが流行しています。財団法人日本青少年研究所の調査によれば、日本でポケベルを持っていた高校生は30%（女子高校生は43%）、アメリカ19%、中国4%という結果が出ています。

中高生たちもポケベルであいさつや、メッセージを友達に送っています。そうやってお互いのコミュニケーションをとることが、彼らの安心につながっているようです。

◇テレホンクラブ

東京都では青少年をテレホンクラブなどの影響から保護するための「テレホンクラブ等営業およびデートクラブ営業の規制に関する条例」が6月から施行されました。テレクラは「援助交際」のきっかけになると指摘されており、全国にさきがけての施行になりました。

東京都は1996年の7月～9月にかけて都内の中高生を対象に調査を行いました。その調査によれば、テレクラ・伝言ダイヤル・ツーショットダイヤルなどを利用した経験を持つものは全体の25%でした。その中でも、女子高校生の利用は36%と高くなっています。さらに「援助交際」の経験者は中学女子で3.5%、高校女子では4.4%でした。

彼女たちをテレクラなど電話を媒体としたコミュニケーションをきっかけとする性風俗に駆り立てるものは何なのでしょう。同じ調査によれば、彼女たちは「あまり話さない家族」「楽しくない学校」「利根的でドライな価値観」「自己に否定的」「手軽にお金が入る」などの理由を挙げています。

◇ナンバーディスプレイ

（発信電話番号表示サービス）

NTTは電話に出る前にかけてきた相手の電話番号がわかるシステムを開発し、名古屋などで試験提供を行っていました。その結果、98年の2月から全国でこのサービスが開始されることになりました。

このシステムでは、相手に自分の電話番号を知られたくない場合は、最初から「回線ごと非通知」にするか、電話をかける時に184を付けてから相手の番号をダイヤルすることになります。

匿名で相談できることが電話相談にとっての利点なのですが、ナンバーディスプレイが始まると、たとえ電話相談機関はそのシステムを利用しなくても、利用者の不安は残ってしまうのです。積極的な広報が望まれます。

◇日本電話相談学会

1997年10月12日、日本ではじめて電話相談の学会が誕生しました。これは、10年前から「全国電話相談研究会」として活動してきた全国の電話相談に携わる人々が、10年間の研究を基礎として、新しく「日本電話相談学会」を組織したものです。

我が国での電話相談の始まりは、1971年に始まった「東京いのちの電話」だと言われています。その当時は、「電話で相談などできるはずがない」と言った心理の専門家もいたそうですが、26年たった今では、いのちの電話だけでも全国で42のセンターがあり、およそ7000人のボランティアが年中無休(無給)で相談を受け付けています。また、行政の行う電話相談や他のボランティア団体の行う電話相談を含めると、全国にはどれくらいの電話相談機関があるのか、興味深いところです。

これまで、電話相談については学問的な裏付けもなく、経験と実践によって支えられてきたきらいがあります。しかし、電話相談には面接相談とは異なった手法や評価が求められています。それらについて、各分野の研究を学際的に行うことによって、電話相談学と呼べるものが生まれてくることでしょう。

日本電話相談学会は、生まれたばかりの学会ですが、その最初の全国大会が1998年の秋に名古屋で開催されることが発表されました。名古屋では5年前に第5回の電話相談研究集会を開催した実績があります。それを機会にこの地方の電話相談機関に所属する人々が「愛知電話相談ネットワーク」を組織して、地道な研究を行ってきました。名古屋大会が電話相談学の歴史に残る大会になるよう、関係者の協力が期待されます。



ご援助ありがとうございます

1997年5月1日より9月末日までに下記の方々から暖かいご支援をいただきました。一同深く感謝いたしますと共にご報告申し上げます。(順不同・敬称略)

なお、上記期間内に何度もご寄付くださった方もお名前は1回にさせていただいております。

社会福祉法人愛知のちの電話協会
理事長 相馬 信夫
財務委員会

【賛助会員A】

大村 祐子	志村 信夫	志村 澄江	兒島 竜雄	神田 正春
池田 輝昭	山田 正武	田中 一行	西村 清	加藤 隆世
榎本 久美江	小川 邦泰	森岡 鏡	岩田 明	岩田 至子
渋澤 直次	渋澤 治子	梨本 将代	大島 恭子	永井 洋子
大野 義彦	大矢 和徳	三浦 俊彦	大塚 弥生	豊田理恵・理彰
伊部 宏	川村 敏雄	安原 律子	牧岡 恒夫	田畑 洋子
太田 喜久雄	福井 隆二	伊藤 美江子	田村 茂子	中野 雅司
戸田 安士	三田村 とま子	石田 弘幸	岩田 亮二	秋重 亮
志村 恵	崔 得海	森 宣子	金澤 強	高橋 多寿江
嶋田 信昭	堤 肇	古橋 義之	高田 邦彦	白田 治子
深谷 優子	服部 武雄	飯尾 てる	伊左治 正文	梶原 寿
中野 悦美	法用 渉	カトリック蟹江教会	法光 寺	

【賛助会員B】

近藤 直枝	岩田 百合子	宮崎 笑子	諏訪 昭子	青山 玄
真山光彌・成子	浅井 きみ子	戸田 伊助	野村 妙子	阿知波 達仁
グラバア 俊子	岩田 鏡一	藤岡 雄子	貝沼 恭一	柳沢 幸輝
山田 満弥	山田 久子	亀山 千恵子	大隅 甲吾	野村 紘子
神田 輝夫	西尾 佳子	塚田 道生	水野 久	大和田 康司
児玉 光雄	伊藤孝一・雅子	松井 くら	坂東 信吾	生田 純子
高須 速夫	伊藤 恵美子	青木 寿美子	小澤 まつ子	小林 厚
河野 登喜子	鈴木 富子	加藤 倫子	向田 正俊	村瀬 文男
三浦 一秋	前田 誠一	早瀬 喜正	小谷 充子	坂本 康信

点滴

9月も半ばを過ぎ、ふと辺りを見回すと空も陽射しも全てが秋色に染まってきています。“暑いよう”と連日半べそかいていたのに、移りゆく時の速さに目を見はる思いがします。その8月のある日、童詩を創作する目の不自由な友人のエスコートで、とても心打たれる素晴らしい時間を過ごすことができました。「中野二郎・童心謳いロマン奏でる・コンサート」。作曲・指揮は中野二郎さん(94)。そしてこの日歌われた作品の大半の童詩を作詞されたのは、中條雅二さん(90)です。この二人は60年来の友人で、深い心の交流が偲ばれます。ピアノとマンドリンオーケストラの演奏にのって、ソプラノやテノールの豊かな声量で表される世界は、懐かしい子供の頃。縁先で、柿の木の下で、膝っこそらを抱え込み暖かい陽だまりに遊んだセピア色。日頃きつと無意識のうちに入っていた肩の力がすうっと抜けて、知らず知らず口元にはほ笑みが浮かびます。友人と重ねている手のひらに無言の会話が通い合いました。コンサートの終わりにお二人が壇上に立たれました。

「僕に来年があるかどうかは分からない。でも良き友と磨きあってきたこの人生に感謝する」と中野さん。「来年また二人で立ちたい。これからも心に響く詩をかきます。」そして固い握手を交わされたのでした。生きるということが、息をすることに加えて、「生き生きと・意気を忘れず・粋にこだわりを持ち」。いいえ「そんなに欲張らずに、でもどこかで意識しながら日々を重ねていきたいね」と、そっと自分に囁いたのでした。(Y・T)

神野啓子	安藤知津子	小宅重雄	名波正子	安田ミチ子
小尾雅彦	鈴村美登里	佐竹一子	黒田忠嘉	飯田和也
鈴木修子	三輪淑子	服部一美	岩田久夫	小川長美
今井謙吾	四日薫	山内一郎	川本昭二	小松朱
橋本茂乃	日本福音ルーテル希望教会			岡田

【賛助会員C】

原久枝	林郁子	金森なを	太田重一	石田喜代子
棚橋千珠子	小川祐美子	鶴田和子	加藤みゆき	植木貞次郎
西田スエ子	山下マサメ	杉浦ます子	小島初江	藤田和男
大竹文子	多和田善平	多和田いみ子	神谷将弘	早川みどり
柏子見昌敏	伊藤宗太郎	平野隆市	浅野節子	酒井ゆかり
相馬貞蔵	神尾初子	竹内宏子	田中節子	中井文子
大野邦忠	佐々木あつ子	飯塚悦子	澄川和子	鈴木久野
森下睦	加藤昭子	山田教代	水野節子	加森古
ト野公子	常富佳子	矢満田篤二	大桐島山	相馬康
中谷塩子	村上賢三	鈴木山和	夏木芳嘉	鈴木ヨ
矢敷好子	片山悦子	中藤喜世	佐藤嘉	五十君
寺井かね子	帆高寿江			

日本基督教団春日井教会婦人会

【寄付金】

小木曾健次	内川正邦	中山三郎	小坂橋孝行	飯塚三千子
足立憲吉	小野孝児	山田恵子	山下政一	片岡みち枝
井沢陽子	石田啓介	後藤忠一	秋田あや子	守田てる美
小知和優子	生川和子	菊田よね子	小笠原覚	水野宜瑞
中辻三千代	山口幸男	中川鋪子	山下タカ子	高須永枝
見木靖美	水野愛子	岩佐敏志	高須速夫	富永伸男
戸田安士	風岡良子	上田きよ	朝倉夏雄・建一	橋本良康
三好のぶ子	岩間哲郎	川崎秀子	榎尾一由	市川垣子
野口博之	小島丈夫	祖父江文宏	梶浦和信	柴田
野村純一	林たか枝	武保輝	長野	豊田
コ谷聖子	武下潤子			

冠幼稚園 カトリック南山教会大樹の会 名古屋パイロットクラブ
 日本キリスト教団東海教会 聖霊奉侍布教修道女会 カトリック尾西教室
 日本福音ルーテル希望教会 幼き聖マリア修道会 神言会宣教事務局吉田聖
 日本キリスト教団鳴海教会婦人会 宗教法人薬師寺代表役員柿本大真

【クリスマス歳末募金】

兒島竜雄 愛知西地区教会婦人連合委員会

【個人会員】

水谷 鏡 豊田 寿子 木本 精之助

【法人賛助】

有限会社エイコー

年末・クリスマス特別寄付のお願い

本年もまもなく、年末、クリスマスの季節を迎えようとしています。
例年この季節に、特に「いのちの電話」の活動を覚えて、特別寄付金を募っております。
今年もよろしくご協力をお願い致します。

送金先 郵便振替口座 00810-8-53758
東海銀行大津町支店(普) 477029
名 儀 社会福祉法人愛知いのちの電話

愛知いのちの電話協会日誌

- 4月1日 10期養成講座B 開講
- 5日 ケース研究会
- 9日 県共同募金会 1997年度配分通知
- 11日 ベルの会
- 21日 総務委員会
- 〃 訓練委員会
- 24日 財務委員会
- 25日 ケース研究会
- 5月6日 記録・広報部会
- 9日 広報委員会
- 14日 ベルの会
- 15日 総務委員会
- 19日 ケース研究会
- 21日 愛知電話相談ネットワーク
- 23日 評議員会、理事会
- 26日 訓練委員会
- 6月6日 日本いのちの電話連盟総会
- 〃 記録・広報部会
- 23日 総務委員会
- 30日 訓練委員会
- 7月9日 名古屋市民生局長室を訪問
- 10日 ベルの会
- 14日 訓練委員会
- 16日 愛知電話相談ネットワーク
- 26日 フォーラム 於ウィル愛知
- 28日 ケース研究会
- 31日 財務委員会
- 8月7日 事務ボランティア打合せ会
- 11日～16日 事務局夏休み
- 22日 市政局訪問 (カンボ心の健康公開講座について)
- 9月1日 総務委員会
- 16日 訓練委員会
- 17日 愛知電話相談ネットワーク
- 19日 三委員長会
- 26日 財務委員会

賛助会員を募集しています

ご協力をお願いします
いつも資金ボランティアとして会費やご寄付をいただき有難うございます。心から御礼申し上げます。
年間2,000万円の運営資金と共に、法人の基金を10年間で1億円積立の課題を与えられております。
会員の皆様の倍旧のご支援と共に、会員増加の運動にもお力を添えて下さいますようお願いいたします。
法人となり寄付金の税法上優遇措置が受けられません。誠に失礼ですが振込票を同封させていただきます。ご利用くだされば幸いです。

- (1) 法人会費 年間5万円・10万円・20万円
- (2) 賛助会員 (年間1口)
A 10,000円 B 5,000円 C 3,000円
- (3) 一般寄付はご自由な金額で結構です。
- (4) 夏期・年末寄付

口座名 社会福祉法人愛知いのちの電話協会
口座番号 東海銀行大津町支店(普)477029
郵便振替口座 00810-8-53758

お問い合わせは…
社会福祉法人愛知いのちの電話協会

名古屋いのちの電話
事務局 ☎ 971-5181

社会福祉法人愛知いのちの電話協会

1997年晩秋

名古屋いのちの電話

〒461-91 名古屋東郵便局 私書箱第257

事務局 ☎ 052-971-5181

相談電話 ☎ 052-971-4343

郵便振替口座 00810-8-53758

東海銀行大津町支店(普)預金口座 477029

1997年11月1日発行

発行人 木本精之助

編集人 広報委員会